

プラザとエポのあゆみ 1995年～2002年

1995(H7)年度

- 1995年10月～(1996年7月)
「地球環境パートナーシッププラザ」開設のための準備スタッフ、環境庁で活動開始
10～12月環境パートナーシップに関するヒアリング
1～3月「環境パートナーシップ推進拠点に関する検討委員会」

1996(H8)年度

- 1996年7月1日
環境パートナーシップオフィス(エポ、EPO)開設
- 1996年7月20日～9月1日
地域とつながる環境学習プログラム「伝えよう! エコロジカルアクション」実施
- 1996年10月29日
地球環境パートナーシッププラザ(プラザ、GEIC)開設
併せて、ホームページ開設
- 1996年10月29日～1997年2月1日
地球環境パートナーシッププラザオープニング事業「地球市民と情報」実施
- 1996年11月～
地球環境パートナーシップリレーセミナー開催
- 1996年12月25日
EPO、ファクスニュースレター「環境パートナーシップ」創刊準備号&1号発行
編集方針 (1) パートナーシップの理念の掘り下げ (2) 具体的な事例紹介 (3) パートナーシップによる活動を育てるための情報の流通 (4) 環境パートナーシップの事業紹介
第1号事例紹介は、「山形県遊佐町での産直交流から始まった清流保存の取り組み」
- 1996年12月～1997年2月1日
「NGOカレンダー展開催」(GEIC)
- 1996年12月～現在に至る
「NGO報告書販売」スタート(GEIC)
- 1997年1月11日
NPO・ボランティアグループの提案を受けてEPOが「救え日本海! ボランティアネット」を立ち上げる。この活動は、市民・行政・企業の協働のあり方を具体的に示した一例。
- 1997年2月1日
「GEIC INFONET」ファクス・ニュースレター創刊
- 1997年2月12日～6月
「STOP! 温暖化 (Action for Climate Change)」企画を気候フォーラムと地球環境パートナーシッププラザが共催して開催(企画展示・セミナーほか)。貸出用の展示パネルセットと配布用のパンフレット作成。
- 1997年2月
国連気候変動枠組み条約事務局の依頼を受け、

GEICは「国連気候変動枠組み条約にNGOの意見を反映するメカニズムづくり」に関する調査研究報告書を作成。2月25日にボンで開催された同条約補助機関(科学上および技術上の助言に関する補助機関)会議にて発表

1997(H9)年度

- 1997年4月22日
GEIC、「環境災害の危機管理ナホトカ号重油流出に学ぶ市民から提言」をまとめる。
- 1997年5月～7月
GEIC、「ストップ! 地球温暖化連続セミナー」開催(9回)
- 1997年6月～12月
GEIC、「リーダーシップ養成講座」(週一回6ヶ月コース)開催
- 1997年7月1日～9月27日
「はじめよう! エコロジカルアクション」夏休みはプラザであそぼう! 開催。
- 1997年7月6日
「パートナーシップを支援する拠点はどこあるべきか」市民活動サポートフォーラム開催
- 1997年7月
ナホトカ号事故をきっかけに「日本環境災害情報センター(仮称: JEDIC)」設立準備委員会発足。地球環境パートナーシッププラザも参画。
- 1997年7月～1998年7月
EPO、「NPOマネジメントトレーニング」開催(企画協力: POWER)(4回)
- 1997年8月
電気製品の二酸化炭素の排出量に関するデータ集「CHOCO₂ (Choice by CO₂)」をGEICにて配布
- 1997年11月
GEIC、「環境および国際協力NGOのカレンダー」展開催
- 1997年12月、2月
環境パートナーシップ・ケーススタディ研究会開催
MEB(Management Institute for the Environment and Business、ワシントンDC)事例
- 1997年12月
GEICは、JCA-Netの協力を得て、COP3の会場からNGOが直接情報発信ができるシステムを構築し、無償で提供。会場にCC:INFO Centre(サイバーカフェ)に50台のPCを設置。また、「Future NGO Participation in the UNFCCC」開催
- 1998年2月～3月
環境パートナーシップ研究会事例研究セミナー開催(3回)
- 1998年3月3日～3月24日
GEIC、「環境家計簿学習会 & 環境家計簿

展」開催

- 1997年4月
「環境パートナーシップ」ニュースで、「環境パートナーシップ」の基本的要素として、「対等・平等の関係」「情報の共有と決定への参加」「公平な役割分担」を掲げる。
- 「環境問題とパートナーシップについて」(1997年6月、INFONETより)
「環境や福祉の問題は、一人ひとりがいきいきと暮らすことのできる、今とは違った社会のあり方を開く突破口です。パートナーシップは個別の問題の解決を目指すプロセスであると同時に、新しい社会の公正原理でなければなりません。「環境パートナーシップ」とは、環境問題を足がかりとして、「公平」・「平等」・「自由」・「多様性の尊重」を理念とする社会実現のための重要な概念なのです」(EPO:川村研治)
- 1998(H10)年度
- 1998年4月4日～5日(1泊2日)
EPO、情報センターの「環境相談窓口設置」サポート研修実施
- 1998年4月8日、21日
GEIC、「利用者のつどい」開催
- 1998年4月～12月
環境パートナーシップ研究会MEBパートナーシップの手引書「フィールドガイド」セミナー(3回)、日本語版検討会(5回)実施
- 1998年5月25日～27日
EPO主催「環境学習拠点ネットワーク会議」開催
- 1998年5月
GEIC、3月に成立した「特定非営利活動法人促進法」の情報コーナー開設
- 1998年6月5日
GEIC、「国連世界環境デー」記念企画
大学生、大学のネットワークをサポートするためのプロジェクト「leF 大学間環境フォーラム」キックオフ記念イベント開催
- 1998年7月18日～25日
EPO、「NPOマネジメントトレーニング第4弾 パートナーシップで環境問題に取り組むことを推進するために」開催(企画協力: POWER)
- 1998年8月29日
環境映像NGO TVEジャパンの協力を得て、ビデオワークショップ「海と生き物」開催
- 1998年9月～2001年11月
齋藤みきさん作品「エコ・アート」をGEIC常設展示。
- 1998年9月17日
国連大学、GEIC、国連大学高等研究所、公開フォーラム「気候変動とWTO:貿易と環境の対立」開催

●1998年9月22日
「環境団体の特定非営利活動法人(NPO法人)化に関するアンケート」実施

●1998年10月～1999年3月
「情報センター交流事業」実施

●1998年10月20日
EPO、ワークショップ「環境NGOを強化し、パートナーシップを形成するために」開催

●1998年11月4日～1999年1月14日
GEIC「環境カレンダー展」(NGO・自治体・企業)「展示団体一口セミナー」開催

●1998年11月8日
EPO、環境事業団共催【NGO活動講座「環境団体とNPO法」】開催

●1998年11月
地球温暖化研修プログラム: CC:TRAIN2(CD-ROM、英語)、CC:ワークショップ(CD-ROM、日本語)配布。GEIC、国連大学、国連高等研究所作成「温暖化報告書(Global Climate Governance: A Report on the Inter-linkage between the Kyoto Protocol and other Multilateral Regimes(Part 1))」配布

●1999年2月～3月
NGO・NPOのための英語クラス(第1期)開催協力

●1999年2月
二酸化炭素排出量に関するデータ集(ChoCO₂)配布

1999(H11)年度

●1999年4月～2000年3月(毎月1回)
「環境パートナーシップリレーセミナー」開催(バルディーズ研究会・EPO共催)

●1999年5月～7月、9月～12月、2000年1月～3月
「NGO・NPOのための英語クラス」(第2・3・4期)開催協力

●1999年6月4日～5日
国連大学、GEIC、世界環境デーイベント「グローバル・エコ」開催

●1999年7月
GEIC発行ニュース「GEIC INFONET」と、EPO発行「環境パートナーシップ」を合併して、「Partnership INFONET」創刊

●1999年7月14日～16日
「インターリンケージ: 多国間環境条約における相乗効果と調整に関する国際会議」開催
主催: 国連大学、GEIC、国連大学高等研究所

●1999年7月～3月
NGO(中部リサイクル市民の会)出向スタッフによる「E's連続セミナー」開催(4回)

●1999年8月
GEIC・リニューアルオープン
資料コーナー充実、フリースペースの拡充、環境情報検索システム導入

●1999年8月7日
GEIC開設3周年記念交流パーティ「エコ246」開催

●1999年10月2日・3日
「国際協力フェスティバル」(東京・日比谷公園)に出展

●1999年10月～2002年3月
EPO、「2001年ボランティア国際年推進協議会」のメンバー団体として活動

●1999年11月
「Partnership INFONET」紙面リニューアル(イベント情報をより一層充実)

●1999年12月1日～2000年1月15日
GEIC、「2000年環境カレンダー展～NGO編～光と水と大地とともに」開催
「環境カレンダー展キット」作成・貸し出し(2月～)

●1999年12月3日
「環境カレンダー展」及び交流パーティ「エコ246」開催

●1999年11月18日～19日
EPO、「全国環境学習・情報拠点施設職員研修会議」開催

●2000年3月3日
「NPO・企業交流名刺交換会」開催(主催: 経団連1%クラブ、GEIC)

2000(H12)年度

●2000年5月23日～6月23日
「環境パートナーシップ事業共同実施団体」公募、選考後NPO birthに決定

●2000年6月3日～4日
世界環境デーイベント「World Environment Day 2000」開催

●2000年6月～9月
「夏期ボランティア・インターン情報(7月～9月)」収集・提供

●2000年7月13日
セミナー「リコーはこうして環境保全に取り組む～NPOとの協働～」開催
報告: 河原恵美(株式会社リコー社会環境室)

●2000年10月7日～8日
GEIC、「国際協力フェスティバル」(東京・日比谷)出展
「やってみよう! 環境ボランティア」冊子作成・配布

●2000年10月21日～22日
「ボランティア国際年プレイヤーフェスタ」(国連大学・EPO)に開催協力、GEIC出展

●2000年10月30日～12月20日
「環境コミュニケーション展2000」出展(東京・凸版印刷)

●2000年10月31日
エポ庵お披露目交流パーティ「エコ246」開催

●2000年11月16日～17日

「環境学習・情報等拠点施設職員研修会議」開催にGEIC/EPO協力(主催: 環境庁民間活動支援室)

●2001年1月
「環境パートナーシップ事業共同実施団体」公募
NPO birthが2年度連続して共同団体に決定する

●2001年2月26日～27日
「インターリンケージ: 多国間環境条約における相乗効果と調整に関する非公式地域協議」ワークショップ開催(マレーシア、クアラルンプール)

●2001年3月14日
セミナー「『野外イベントの環境対策Rock the Earth』ごみゼロイベントへのA SEED JAPANの挑戦～NGOと企業が協働するエコイベントの可能性」開催(主催: A SEED JAPAN、EPO)

2001(H13)年度

●2001年6月
データベース「環境らしんばん」開設
データを、EIC(環境情報普及センター)と国立環境研究所データと一部共有する仕組みを確立
掲載情報: 環境ごよみ、団体情報、NGO発行図書、環境情報・学習拠点、交流フォーラム

●2001年6月～9月
「夏期ボランティア・インターン情報(7月～9月)」収集・提供

●2001年8月～(2002年8月)
ヨハネスブルグ・サミットにむけたNGO/NPO等の意見交換会開催等

●2001年9月
「Partnership INFONET」読者アンケート実施
「Partnership INFONET」ファクス版最終号発行(以後は印刷、ホームページ、電子メールにて発行)
新規ニュースレター検討会議開催(パートナーシップ協議会有志とスタッフ)

●2001年9月3日～4日
持続可能な開発に関する世界サミット: インターリンケージに関する国際賢人会議開催(東京、国際連合大学)

●2001年12月4日
GEIC/EPO(プラザ・エポ)開設5周年交流パーティ「エコ246」開催

●2001年12月
環境ボランティア応援キャンペーン実施(GEIC館内展示企画、NPOによるセミナー開催など)